

資料3 (仮称)吹田市シティプロモーション戦略プラン ターゲットと戦略(案)

	ターゲット	年齢	特徴	目指すべき戦略イメージ (案)	キーワード (太字は委員会より)	基本的方向(案) (総合戦略より)	戦略(案) (総合戦略より)	各課の施策等	担当課
1	こども	0~17歳 (高校生)	吹田市の15歳未満人口は2000年以降増加傾向にある。	充実した子育て・教育環境やガンバ大阪などのイメージを活かしたスポーツ振興などにより、都市の魅力イメージをさらに高める。	<ul style="list-style-type: none"> 教育環境 保育 	<ul style="list-style-type: none"> 未来を拓く教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い幼児期の学校教育 保育の提供 英語教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力の育成に向けて、全小学校の6年生が体験学習施設(Osaka English Village)を活用し、英語コミュニケーション体験を実施している。 	学校教育部 指導室
								<ul style="list-style-type: none"> 市立吹田サッカースタジアムに小学4年生を招待し施設見学を行い、まちへの愛着と誇りを育むホームタウン推進事業を実施する予定。 	文化スポーツ推進室
								<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒が、吹田市に縁があり、様々な分野で活躍する人と出会い、夢や目標をもって生きることの大切さを学ぶ夢と希望を広げる出会い事業を実施している。 	地域教育部 まなびの支援課
								<ul style="list-style-type: none"> 幼年消防クラブの育成幼年期から火に対する正しい知識を身に付けておくことが重要であることから、市内の保育園、幼稚園、こども園を対象に、防火映画会、消防署の見学、消防出初式等への参加等を通じ、防火思想の普及啓発等を図ることで、「火災のない明るいまちづくり」に寄与する。 	消防本部 総務予防室
2	大学生	18~25歳 くらい	吹田市内には、大学が多く、学生数も多い。	学生などの若者が集まり活動する魅力あるまちづくりと若者が働きやすい環境をつくり、地元定着を促す。	<ul style="list-style-type: none"> 働く場 	<ul style="list-style-type: none"> 若者の地元就職への支援と働きやすい環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 若者と市内企業のマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> 就職活動解禁の時期に合わせ、大学生等を対象に、地元企業への就職ニーズと優秀な人材を求める地元企業の採用ニーズをサポートすることを目的に市内企業を含めた就職説明会を実施している。 	都市魅力部 地域経済振興室
3	子育て世代	20~40歳 くらい	吹田市の人口は子育て世代を中心に微増の傾向にあり、「定住意向」も周辺市と比較して高い。	高質な住環境、充実した子育て・教育環境などにより、より一層魅力を高めていく。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て 住みやすさ 教育環境 	<ul style="list-style-type: none"> 子育てしやすい環境の整備 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 	<ul style="list-style-type: none"> 「太陽の広場」「地域の学校」の開催充実 「吹田版ネウボラ」の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校全36小学校での「太陽の広場」を開催している。課題としてボランティアの高齢化、担い手不足が挙げられる。 	地域教育部 青少年室
								<ul style="list-style-type: none"> (3子育て世代含み)平成21年度より市民の生涯学習の機会を提供するため、生涯学習吹田市民大学を開設している。 大学連携講座は、大学教員による、歴史や文学、経済、工学など専門的な内容。市内の関西大学・千里金蘭大学・大阪学院大学と共催で、会場は各大学のキャンパスが中心である。特別講座は、高齢化や防災、健康づくりなど現代的課題に特化。近年は各地区公民館と共催で、各地区公民館で実施している。 	地域教育部 まなびの支援課
								<ul style="list-style-type: none"> 妊娠・出産子育て期における様々なニーズに対して切れ目のないように相談、支援を行う「吹田版ネウボラ」を整備する。 	健康医療部 保健センター
								<ul style="list-style-type: none"> 月齢別の親子教室や父親教室の毎月定例開催や、子育て講座の開催、多胎児・転入者・外国人親子等の交流会の開催で多様な子育てニーズに応じている。 また、「子育て支援コンシェルジュ事業」を平成28年4月から実施して、妊婦から子育て世代の相談を受け必要に応じて子育て関係機関と連携をとって支援している。 今後、事業の充実と市民への周知が必要と考える。 	児童部 のびのび子育てプラザ

資料3 (仮称)吹田市シティプロモーション戦略プラン ターゲットと戦略(案)

	ターゲット	年齢	特徴	目指すべき戦略イメージ (案)	キーワード (太字は委員会より)	基本的方向(案) (総合戦略より)	戦略(案) (総合戦略より)	各課の施策等	担当課
								<ul style="list-style-type: none"> ・私立認定こども園、私立保育所及び市立保育所で、育児教室をはじめ、地域の児童と園児の交流、施設の一部開放、育児相談、サークル活動への支援など、関係機関との連携を図りながら、多様な子育て支援に取り組んでいる。 	児童部 のびのび子育てプラザ 各保育園
4	働き盛り世代	15～64歳 (生産年齢)	15～64歳の人口は2000年以降減少の傾向がある。	都市魅力の強化と戦略的な情報発信により、「住む」「楽しむ」新たな魅力を創出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援 ・楽しむ ・情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業促進や企業の成長支援による雇用の創出 ・魅力ある商業地づくり ・都市の魅力の強化と戦略的な情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報橋員プラザ(Inforest すいた)を拠点とした魅力発信 ・ガンバ大阪ホームタウンの推進 ・吹田市自転車走行環境整備計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援機関である、「JOBナビすいたJOBカフェすいた」では、求職者の個々の状況に応じて就労相談、スキルアップ支援、就職活動に必要な情報提供等を行いながら、職業紹介までトータルに支援を実施している。 ・「JOBナビすいたJOBカフェすいた」を利用される方は、市内在住、在学、在勤、全年齢を対象に各種サービスを無料で提供している。 	都市魅力部 地域経済振興室
								<ul style="list-style-type: none"> ・消防団の活性化 大規模災害が発生した際、消防団をはじめとする地域住民の協力が必要であり、本市においても消防団等の充実強化が喫緊の課題となっている。消防団を活性化するため、消防団員の処遇や装備を改善し、働き盛り世代の入団を促進するとともに、新規団員入団のPR活動を積極的に実施し、地域防災力の向上に努める。 	消防本部 総務予防室
5	地域貢献世代	65～75歳 くらい	65歳以上の人口は増加を続けている。健康で時間に余裕のある人が多い。	地域コミュニティを活かした市民活動の活発な都市を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ ・生涯学習 ・文化・市民活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの強化による安全安心のまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・「生涯活躍のまち」(健都版 CCRC)の取組 ・(仮称)健都ライブラリー ・地域防災力の向上 ・消防団の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域など、それぞれが所属するコミュニティにおいて、環境教育を実践する人材を育てるため「すいた環境サポーター養成講座」を実施している。 	環境部 環境政策室
6	高齢世代	75歳以上	団塊の世代がすべて75歳以上になる2025年に向け、75歳以上人口は増加を続けている。	「北大阪健康医療都市」を中心に、誰もが健康で安心して暮らせる「健康・医療のまちづくり」を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康 ・医療・福祉 	<ul style="list-style-type: none"> ・北大阪健康都市医療都市における国際級の複合医療産業拠点の形成 ・健康・医療のまちづくりによる健康寿命の延伸 	<ul style="list-style-type: none"> ・北大阪健康都市医療都市における健康・医療の取組 ・(仮称)ココ・カラ・ウォーキングプロジェクト ・「すいた笑顔(スマイル)体操」(ただし全世代を対象) 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための地域づくりを進めるために、認知症サポーター養成研修、徘徊高齢者搜索模擬訓練、成年後見制度利用支援事業を実施している。 	福祉部 高齢福祉室
7	企業市民等	—	2012年以降、事業所数、従業員数は増加し、吹田市	全国有数の開業率を誇る本市の強みを活かし、新たなビジネスや雇用が生まれる活力のある都市を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業 ・産業活性化 ・ナショナルブランド ・グローバル 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内への企業移転・進出による地域産業の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「すいた創業支援ネットワーク」を活用した創業支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・健都イノベーションパークの進出事業者と市内事業者の連携・活用を推進していく。 	健康医療部 北大阪健康医療都市推進室

資料3 (仮称)吹田市シティプロモーション戦略プラン ターゲットと戦略(案)

ターゲット	年齢	特徴	目指すべき戦略イメージ (案)	キーワード (太字は委員会より)	基本的方向(案) (総合戦略より)	戦略(案) (総合戦略より)	各課の施策等	担当課
		は「企業のあるまち」のイメージがある。					・持続可能な社会を目指す三者協働組織「アジェンダ21すいた」において、市民、事業者、大学、NPO 団体等と連携し、様々な啓発活動を推進している。	環境部 環境政策室
全て	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・環境 ・住みよい ・市民のかかわり ・都市イメージ ・ポテンシャル ・誇りと愛着 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した快適で機能的なまちづくり ・誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり ・市民ニーズの変化に応じた都市の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・みどり環境の継承と充実 ・環境先進都市を目指した取組 	・「地域の特性を生かしたまちづくりの推進」 地区のまちづくり構想やまちづくりのルール化などを支援するため、「地区」の住民等への出前講座の開催やまちづくりの専門家(アドバイザー)の派遣などを実施している。	都市計画部 都市計画室
							・下水道使用料金が安い (大阪府下43市町村4番目に安い) ・下水道普及率が高い (大阪府下43市町村7番目に高い)	下水道部
							・(仮称)健都ライブラリーと公園を一体的に活用し、健康・医療の取組を推進していく。	健康医療部 北大阪健康医療都市推進室
							・口腔ケアに対する情報提供や啓発の充実を図ることを目的に、口腔ケアセンターを設置している。	健康医療部 保健センター
							・応急手当の普及啓発 超高齢社会を迎え、救急の市民ニーズは、今後もこれまで以上に増加することが予想される。市民の自主救護能力を高めるため、学校、自治会及び事業所など幅広い年齢層を対象にAED(自動体外除細動器)の使用を含めた普通・上級救命講習会を計画的に実施し、救命率の向上を図る。	消防本部 警防救急室
							・資源リサイクルセンターにおいて廃品を利用して楽しく作品づくりや市民研究所での環境への負荷の少ないライフスタイルの研究、各種講演会の実施など。市民に広く、啓発や学びの場を提供している。	環境部 環境政策室
							・市民課レイアウトの見直しを行い、パーティションを備えたローカウンターの導入等によるプライバシーの保護対策強化と、快適な待合スペースの確保等による市民サービス、市民満足度の向上を図る。	市民部 市民課
							・公共交通不便地域である「千里丘地区」において、主要施設へのアクセス手段確保のため、コミュニティバスを運行する。	土木部 総務交通室
							・吹田市の特産物である竹に親しみ、千里の竹林の保全意識の普及啓発を図ることを目的に千里の竹あかりを実施する。	土木部 公園みどり室

資料3 (仮称)吹田市シティプロモーション戦略プラン ターゲットと戦略(案)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--